

自らの地域は
自らで守る



★大船渡市 消防団だより

- 消防団長年頭あいさつ……………P 2
- 令和5年大船渡市消防出初式……………P 3
- 消防団幹部退職者感謝状贈呈
- ラッパ隊・まとい組訓練風景……………P 4
- 消防団協力事業所表示証交付
女性消防団員の活動……………P 5
- 令和4年度岩手県総合防災訓練……………P 6
- 大船渡小学校・綾里小学校防火作品…P 7
- 消防団員募集・ツイッター開始……………P 8



編集・発行：大船渡市消防団

(大船渡市盛町字下館下35-1 ☎0192-27-2119)

掲載：大船渡地区消防組合ホームページ

<http://www.fd-ofunato.jp/>

「お出かけは マスク戸締り 火の用心」
～2022年度全国統一防火標語～

消防団長年頭あいさつ

大船渡市消防団 消防団長 大田昌広



あけましておめでとうございます。

令和5年の輝かしい新春を迎える、市民の皆様には謹んで年頭のごあいさつを申し上げますとともに

活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍において消防団事業の中止や縮小など感染拡大を考慮した制限を行ってきました。令和5年消防出初式は、班長以上の幹部を参考しての式典のみとなりました

が、三浦市議会議長様を始め、多くのご来賓の方々のご臨席を賜りまして、2年ぶりに開催することができました。新型コロナウイルス感染の収束はおろか、全国で第8

波の広がりを見せており気を緩めることなく生活することが重要であります。

さて、昨年は8件の火災を数え、抑止目標の11件を下回りはしたもの

住宅火災において、1名の死者を出したことは誠に遺憾であります。

団員の皆さんには、さらなる予防消防の徹底に精進されますようお願いします。

に遺憾であります。団員の皆さんには、さらなる予防消防の徹底に精進されますようお願いします。

また、近年、気候変動により甚大な被害をもたらす自然災害が発生しています。昨年岩手県では日本海溝、千島海溝沿いで発生が予想される巨大地震の被害想定を発表しました。マグニチュード9クラスの地震が発生し

災・減災対策の重要性がますます高まります。

我が消防団においては、地震津波時における安全管理マニュアルを見直したところであり、災害への早期対応と団員の安全確保に努めていく所存です。

多様化する災害へ即応するため、練度を下げぬよう創意を重ねた訓練に励み、時代に即した変革を遂げ、地域防災の要として歩んで参ります。

1月15日(日)リアスホールを会場に大船渡市消防出初式を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、分列行進およびまとい振り、ラッパ隊吹奏の中止など、規模を縮小し、式典のみ開催しました。式典では、志田副市長から「市民の生命と財産を守る、誇り高い消防の使命のもとに、昼夜を問わず職務を遂行されている消防団員とその家族に深く敬意と感謝を表します。」とのお言葉を頂きました。続いて、千葉消防長から年頭の諭告、大田消防団長から年頭の訓示を頂きました。そして、来賓のご臨席の中、三浦市議会議長、千葉県議会議員、永澤大船渡警察署長からご祝辞を頂きました。

また、無火災分団表彰とまとい組員表彰が行われた後、佐藤防災管理室長の音頭により、出席者全員で三本締めを行い、一年の無火災と大船渡市民の安全を祈願しました。

令和5年大船渡市消防出初式



大田消防団長



千葉消防長



志田副市長



ご祝辞を頂いたご来賓の方々



永澤警察署長 千葉県議会議員 三浦市議会議長

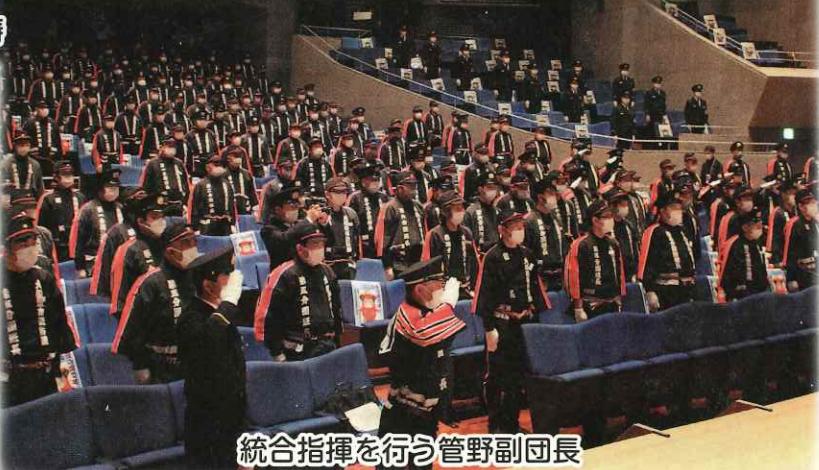
東日本大震災で亡くなられた方々に黙祷



司会進行の
千葉本部長



三本締めの音頭をとる
佐藤防災管理室長



統合指揮を行なう管野副団長

大船渡市長表彰・消防団長表彰



4期間無火災達成

第10分団



4期間無火災達成

第4分団



まとい組員功績証

今野史仁班長

消防団長表彰

○まとい組員	功績証（5年以上在籍）
第8分団 班長 今野 史仁	功績証（5年以上在籍）
第5分団 団員 志田 智	※代表受領者
第11分団 団員 熊谷 優汰	
第12分団 団員 欠畠 直之	

大船渡市長表彰

○4期間無火災分団	第4分団（平成30年2月）
○3期間無火災分団	第10分団（平成30年8月）
○2期間無火災分団	第11分団（令和元年6月）
○1期間無火災分団	第3分団（令和2年1月）
○1期間無火災分団	第5分団（平成31年3月）
○1期間無火災分団	第1分団（令和3年11月）

無火災分団表彰

消防団幹部退職者感謝状贈呈

令和元年度から令和3年度までに退職された消防団幹部の皆様に対し、長きにわたり大船渡市消防団の発展に寄与されましたことに感謝し、令和5年大船渡市消防出初式にて大田消防団長より感謝状が贈呈されました。



令和元年度退職者

元副団長 佐々木啓一様
元副団長 小坪 和人様
元副団長 佐々木利光様
元第1分団長 鈴木 博様
元第3分団長 中村 正様
元第6分団長 今野 稔様
元第7分団長 高橋 宏児様
元第9副分団長 佐々木健治様
前第11副分団長 田中 明仁様
元第12副分団長 菊地 誠様

令和2年度退職者

前消防団長 猪股 拓也様
前副団長 中村 亨様
元第2分団長 木下 清吾様
前第4分団長 菅原 尚久様
前第5分団長 志田 雅彦様

令和3年度退職者

前団付部長 寺澤 幹嗣様
前第2分団長 阿部 秀樹様
前第3分団長 大和田康彦様
前第6分団長 三浦 謙一様
前第6副分団長 遠藤 稔様
前第7分団長 金野 竜様
前第8分団長 金野 道程様
前第10分団長 炭釜 秀一様



◆退職者代表として、感謝状を受領する猪股前消防団長

～ラッパ隊・まとい組～ 来年こそ必ず



ラッパ隊長より

11月から限られた日数、新型コロナウイルス感染予防対策として色々な条件下にもかかわらず、ラッパ長を始め隊員の皆さんの訓練に対する真剣な姿、新入隊員の積極的な参加もあり、想像以上の仕上がりに感心しました。これも隊員のご家族並びに職場のご理解とご協力のおかげと感謝申し上げます。残念ながら出初式でのお披露目はできませんでしたが、今回の訓練を無駄にせず、今後の活動の糧としていただきたいです。約1ヶ月にわたる訓練お疲れ様でした。

ラッパ隊長 吉田 和春

まとい組長より

11月からまとい組員全員で市民の皆様に伝統ある大船渡市消防団のまとい振りを披露するべく、練習に励んできましたが、出初式を目前にコロナ禍という壁に阻まれ披露する事は出来ませんでした。1カ月以上もの期間、毎日休まず練習に励んだ組員に心から感謝と敬意を表します。来年こそは必ず披露できることを願います。まとい組員の皆様本当に疲れ様でした。

まとい組長 石澤 紀誉隆

大船渡市消防団協力事業所表示証交付

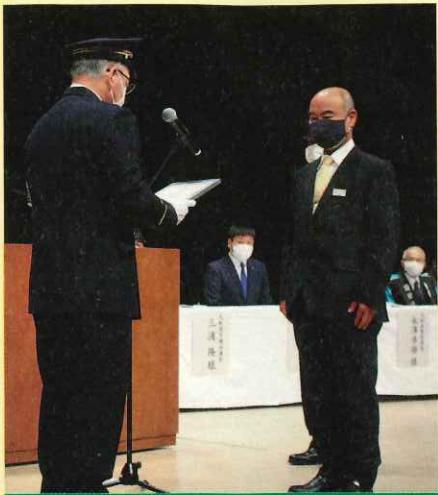


▲大船渡市消防団
協力事業所表示証

令和5年大船渡市消防出初式に先立ち、大船渡市消防団協力事業所表示証交付式を行い、今年度新たに認定されました「岩手開発鉄道株式会社様」に、志田副市長から表示証と交付書が手渡されました。

この表示制度は、平成19年3月に創設され、消防団に積極的に協力している事業所などへ「消防団協力事業所表示証」を交付しており、これで大船渡市内27事業所目の認定となります。

勤務中における団員の消防団活動への参加及び活動環境の向上を図るとともに、地域における協力事業所の社会的貢献を広報し、団員の確保など地域防災の充実を図ろうと実施しているものです。



▲岩手開発鉄道株式会社（盛町字東町）
代表取締役社長 岩田 真一 様

消防女子の活躍 女性消防団員の活動



◆「女性班」新設◆



令和4年4月、団本部に「女性班」を新しく設置しました。女性消防団員5名が所属し、10月14日に辞令書交付式を行いました。

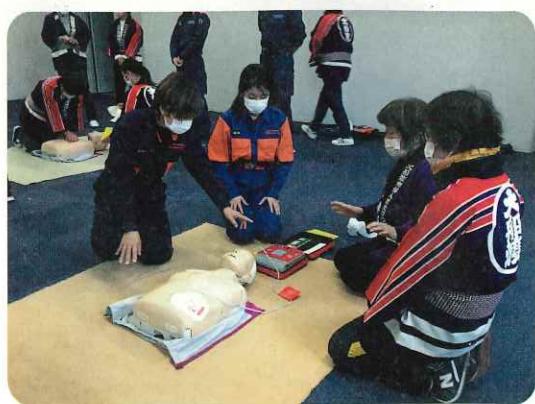


▲辞令書を受取る女性団員

女性班は、消防団組織の活性化として期待されており、災害予防広報に係る啓発活動、各種訓練やイベント事業の運営、司会進行、各種広報、救命講習の講師などの活動を通じ、女性ならではの視点で地域のニーズに応えるべく、日々活動を続けています。

◆応急手当の知識と技術の普及◆

令和4年11月、大船渡市婦人防火クラブ協議会が実施した救命講習では、消防署員とともに講師を務め、心肺停止の人に行う救命処置を指導しました。今年度、女性消防団員7名が、応急手当普及員の資格を取得します。応急手当普及員とは、応急手当（心肺蘇生やケガ等の手当）に関する合計24時間の講習を修了することで、所属する事業所の従業員などに対して行う救命講習の指導に携わることができますので、今回、初めて講師を務めました。



▲防火クラブ員に指導する女性団員
習得目指し講習に励む女性団員▶



▲表彰補助を務める女性団員



令和4年度岩手県総合防災訓練

令和4年10月29日

東日本大震災、平成28年台風第10号災害及び令和元年台風第19号災害等の教訓を生かし「自助、共助、公助」による災害対応の総合力強化を目的に気仙2市1町で実施されました。

前日から大雨が降り続いた翌朝に最大震度6弱の地震に伴う津波警報が発表されるという想定のもと、大船渡市消防団も訓練に参加しました。



土砂崩れにより倒壊した家屋から救出活動を行うには、強靭な体力を必要とし、危険と隣り合わせの活動です。

◆チェンソーで流木を切断したり、スコップやバケツで流入した土砂を地道に除去し、埋没した要救助者を救助します。

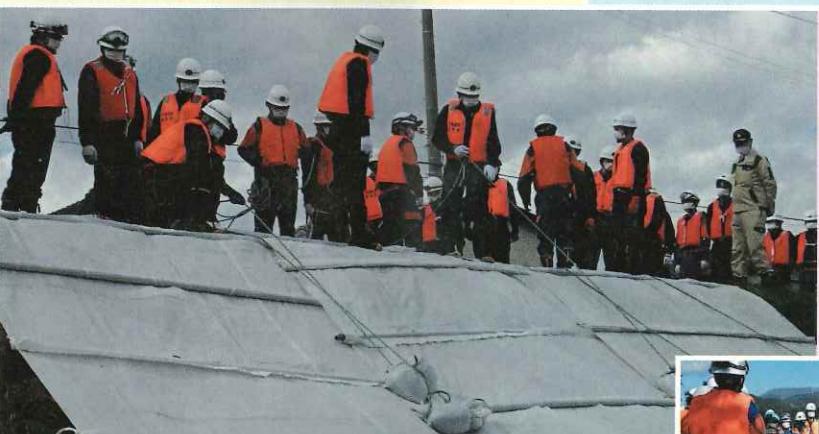
◆埋没した要救助者を担架にて応急救護所まで搬送します。



▲チェンソーは危険な作業のため、事前に訓練しました。下肢防護衣もちゃんと装着！手入れ方法も確認しました。これがなかなか難しい…

▲大規模災害時は、各機関が相互に協力して災害に対応しなければ、助けられない命があります。

今回は警察、自衛隊、医療機関、救助犬等との連携を図りました。



◆盛川河川敷では第7、8、9分団総員40名により、水防工法を実施しました。

大雨により河川が増水し、堤防の決壊や法面崩壊の恐れがあるため、浸透防止を目的として、シートと土のうを使用し「シート張り工法」を実施しています。

このような現場は、時間との勝負になります。団員は、手分けして杭の設定、ロープの準備、土のうの搬送、シートの作成を手際よく行わなければなりません。



▲雨量が急激に増え水路から越水し住宅へ流入することを防止する目的で実施するのが「積み土のう工法」です。

長さ約5m×高さ50cmサイズのものを作成するのに20kgの土のうが約300袋必要になるため、大変な作業になります。

水防活動は、重労働かつ危険で地道な作業のため、多くの団員の力が必要となります。

▲県復興防災部長が視察され、杭やロープの設定状況を確認し、懸命に活動している団員の様子に感心されていました。

視察は、住田町や陸前高田市でも行われました。



防火作品 綾里小学校



1年 佐藤瑛心さん



1年 小館喜々さん



1年 新沼瑠香さん



3年 河原爽将さん



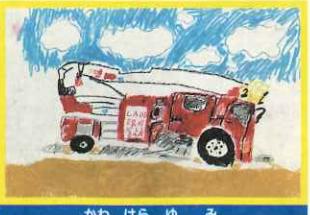
3年 笹野柊太さん



3年 山崎道拓さん



防火作品 大船渡小学校



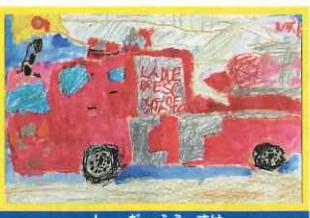
1年 川原優海さん



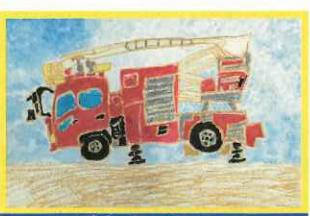
1年 和野結仁さん



1年 松澤縁さん



2年 志田楓介さん



2年 鈴木月凪さん



2年 秋葉周作さん



令和4年度 消防団幹部名簿



役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
団長	大田昌広	第1分団長	伊藤晴喜	第1分団副分団長	伊勢徳雄	団付部長	佐々木義行
		第2分団長	新沼裕一	第2分団副分団長	栗村一真	団付部長	佐藤光春
副団長	管野優	第3分団長	久保田健治	第3分団副分団長	永澤幸喜	団付部長	三浦智昭
		第4分団長	滝田寛明	第4分団副分団長	紀室学	団付部長	吉田和春
副団長	金野剛	第5分団長	葉澤靖幸	第5分団副分団長	志田剛史	団付部長	藤原淳
		第6分団長	佐々木晋一	第6分団副分団長	金野貴浩	団付部長	須賀大貴
副団長	佐々木正人	第7分団長	川内利誉	第7分団副分団長	田村清輝	団付部長	志田恵樹
		第8分団長	佐々木聰	第8分団副分団長	吉田秀樹	団付部長	千葉知裕
本部長	千葉繁規	第9分団長	菊地正洋	第9分団副分団長	新沼豊隆	団付部長	佐藤雄
		第10分団長	佐々木淳	第10分団副分団長	村上卓志	団付部長	滝田昇一
副本部長	小坪智幸	第11分団長	石川利宏	第11分団副分団長	窪田将浩	団付部長	石澤紀誉隆
		第12分団長	小坪信哉	第12分団副分団長	木村勉	団付部長	八巻潤

消防団員募集

～自分の住む地域と一緒に守りませんか～



消防団員は、本業を持ちながら非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

消防団の活動は、消火活動、救助活動及び避難誘導を始め、防火指導、広報活動と多岐にわたり、地域の消防力・防災力の確保に大きな役割を果たしています。

18歳以上で市内に在住または勤務していれば男性、女性どちらも大歓迎です。



年額報酬

活動に対する1年間の報酬として団員階級で年額36,500円を個人へ支給します。

公務災害補償制度

消防団活動によって被った身体的損害について補償し、被災団員の社会復帰の推進をサポートします。

消防団員の 主な待遇

退職報償金制度

5年以上勤務して退職した団員に対し、階級及び勤務年数に応じて支給します。

出動報警

消防団活動を行った場合、回数または時間に応じ、1日最大8,000円を個人へ支給します。

福祉共済制度

公務・公務外に関わらず、死亡、障害、入院に対し重症度に応じて弔慰金や見舞金を支給します。

消防団に興味を持たれた方や、入団を希望する方は、地域の消防団員、または大船渡消防署・三陸分署・綾里分遣所にその旨をお伝えください。

※右の QR コードを携帯カメラに映すと、総務省消防庁のホームページより消防団の活動や PR ムービーをご覧いただけます。



消防団の「いま」を見つけよう 大船渡市消防団公式 Twitter 運用開始

令和4年4月から大船渡市消防団の公式Twitter（ツイッター）を始めました。消防団に関する各種イベント情報や活躍を画像や動画を添えて随時投稿しています。

下のQRコードを携帯カメラに映すと、大船渡市消防団のツイート画面をご覧いただけます。皆さんのフォローをお待ちしております。



このアイコンで投稿しています。
フォローお願いします。



東日本大震災から12年、郷土は震災から復興を遂げつづけあります。昨今、我々消防団は、新型コロナウィルス感染症拡大の影響を大きく受け、行事の縮小・中止と活動の制限を余儀なくされています。また、人口減少下での団員確保といつた新たな課題にも直面しています。これらの課題は、「朝一夕に解決できるものではありません。さらに、大雨・洪水等の自然災害による大変な被害に対し、消防団に求められる活動が、増加する傾向にあるのも事実です。

こうした状況においても「義勇・愛郷」の精神のもと郷土の安全・安心を後世に引き継いでいくため、これからも市民の皆様のご温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

編集部より